

人と自然と産業が輝く 魅力あふれるまち

平内町勢要覧

2025



人と自然と産業が輝く 魅力あふれるまち

先人から受け継いだ豊かな自然や伝統、
快適な社会基盤や産業といった地域資源を最大限に活かし、
誰しものがいつまでも住み続けたいと願う活力と魅力あふれるまちをめざします。

平内町 町勢要覧2025

contents

- 01 産 業
ホタテ養殖とともに躍動する町

- 03 歴 史
連綿と続く歴史とともに躍動する町

- 05 暮らし
子育て環境の充実とともに躍動する町
魅力ある地域・人づくりとともに躍動する町

- 07 自 然
平内町の春夏秋冬

- 15 特産品／見どころ

- 17 平内町がめざす未来の姿
 - 安全・安心、健康
 - 産業・雇用
 - 環境
 - 教育・人づくり
 - 計画実現にむけた体制

- 29 資料編





あいさつ

私たちの郷土“平内町”は、これまで多くの先人たちのたゆまぬ努力と不屈の精神によってまちの基礎が築かれ着実な発展を続けてきました。先人たちから受け継いだ豊かな自然や伝統、快適な社会基盤や産業といった地域資源を最大限に活かし、誰もがいつまでも住み続けたいと願う活力と魅力あふれるまちを町民と一緒に目指していきます。

平内町長 船橋 茂久



ホタテ養殖と ともに躍動する町



ホタテの水揚げ

「ホタテ王国 ひらない」の誕生

ホタテ産業は、これまで多くの漁業者、行政、研究者の飽くなき探求と弛まざる努力により、日本全体で約50万トンが生産されており、平内町は養殖したホタテでは日本一の生産量を誇っています。その理由としては、当町では戦前からホタテを安定生産するための研究がなされており、中でも世界で初めて人工産卵に成功した山本護太郎博士や育成籠を考案して、中間育成を行った西平内第一漁業協同組合の豊島友太郎組合長などの尽力により、いち早く養殖事業に取り組んだ結果、現在は、青森県全体のホタテの約半分を生産しています。



両氏の顕彰碑

先人たちのたゆまない努力と知恵がありました。豊かな陸奥湾で採れる美味しいホタテの陰には、平内町は知る人ぞ知る、ホタテ養殖発祥の地。

しかし、養殖技術の確立までの漁業者は、十数年に一度の自然発生（異常生き残り）を頼りに生業としており、非常に貧しい生活を強いられていましたが、昭和40年代に杉の葉を覆った玉ねぎ袋による天然採苗が確立して、計画的な稚貝の採取が可能となりホタテ養殖事業が軌道にのりました。ここから生まれたホタテの養殖技術は陸奥湾全体に広がり、昭和43年には茂浦地区に旧青森県水産増殖センターが作られたことで陸奥湾の養殖研究が本格化し、昭和45年以降には100億円産業にまで成長を遂げています。今や「ホタテ養殖発祥の地」として「ホタテ王国ひらない」の知名度は国内外に広がっています。





ホタテの出荷

高水温の奮闘期から高成長を遂げた「ひらないホタテ」

地球の温暖化に翻弄される養殖ホタテは、数年前から気候変動に悩まされ、平成22年には陸奥湾における異常高水温によるホタテの大量へい死、翌年23年の貝毒発生による出荷規制など、陸奥湾のホタテにとっては厳しい状況が続いていました。しかしながら、平成25年頃から漁業者の適正養殖管理により水揚げが徐々に回復し、平成28年には過去最高の水揚高となるまで成長を遂げました。

その後、好調が続いたホタテ漁でしたが、令和5・6年に異常高水温が続いたことによりホタテの大量へい死に見舞われ、再び厳しい状況下におかれています。平内町では引き続き養殖環境づくりの支援を行いながら、養殖ホタテ水揚げ日本一返り咲きを目指して取り組んでいきます。

「あおもりホタテ」から「ひらないホタテ」へ。

平内町の基幹産業はホタテの養殖漁業で、その主体は加工向けの1年貝（半生貝・新貝）となっていますが、低価格で年毎の価格差が大きいと、活貝向けの2年貝（成貝）を増やし、経営を安定させることが重要です。また、当町には水産加工業社が十数社あることから、2次加工した付加価値の高い製品づくりが陸奥湾産「ひらないホタテ」の美味しさを宣伝することとなります。

そのためにも、情報発信基地としての「ほたて広場」と隣接するホタテ料理専門店のご当地レストラン「ホタテ一番」を活用して、美味しいホタテを実食してもらい「ひらないホタテ」のブランド化を推進していきます。



水産漁業体験学習



味わって、見て、学んで！

森と川と海「ほたて広場」

ホタテの生産・販売の拠点として、漁業団体が一体となって運営する「ほたて広場」。ここは目の前の陸奥湾で水揚げされる栄養満点で旨味たっぷりの活ホタテ貝はもちろん、県内でとれる豊かな魚介類や水産加工品、地場農産物の販売とPRを担う情報発信基地。生乳にホタテエキスをブレンドした「ほたちんソフト」が人気です。2階にはホタテ養殖などの歴史がわかる展示スペースも併設し、楽しみながらホタテの知識を深めることができます。



住所：青森県東津軽郡平内町土屋字鍵懸56
電話：017-752-3220
営業時間：午前9時～午後5時
定休日：毎週水曜日、年末年始

ホタテ料理専門ご当地レストラン

「ホタテ一番」



ご当地レストラン「ホタテ一番」はひらないまるごと

グルメ館の館内にあり、ここでは養殖ホタテ水揚げ日本一である平内町ならではのホタテ尽くしおもてなし膳「平内ホタテ活御膳」を味わうことができるほか、同じように平内産のホタテや青森県産ブランド米「青天の霹靂（へきれき）」を使用したさまざまなメニューを提供しており、新鮮なホタテをふんだんに使用した創作メニューを楽しむことができます。



住所：青森県東津軽郡平内町土屋字鍵懸56
電話：017-764-0251
営業時間：午前9時～午後3時
（11月～3月：午前11時～午後2時30分）
定休日：毎週水曜日、年末年始



連綿と続く歴史と ともに躍動する町

昭和3年11月10日天皇即位奉職記念、川原町より勝田町を望む

長い年月先人の一人ひとりのたゆまぬ努力と汗が我が大地をたがやし、北国の自然と共鳴しながらこの地にしっかりと根をおろし、たゆまなく次の人々へ受け継がれてゆく。

平内町の沿革 先人の知恵と努力が町の礎を築き 熱き思いとともに今があります。

平内（ひらない）は蝦夷語の「ピラナイ」が語源とされています。「ピラ」は山と山の間、「ナイ」は河川の意で「山と山の間が流れる土地」という語義があります。

鎌倉時代の歴史書、^{あずまかがみ}吾妻鏡によると、平内地区は「平内郷」と呼ばれ、鎌倉時代から南北朝時代末までは南部領糖部郡に属していましたが、室町時代の永享の頃には津軽田舎郡の所領となりました。元亀・天正の頃には、七戸隼人という者が現在の福館に城を築いて平内郷一帯を支配しましたが、津軽為信公の外ヶ浜（現在の東青地区）討平の際、軍門に降り津軽領となりました。明暦2年に津軽十郎左衛門信英が平内郷を賜り黒石領となった時、各村に庄屋をおきこの上に大庄屋において村内を監督させるとともに、小湊に役所を

開き、代官二人をおいて一帯を治めました。東は狩場沢、西は土屋に関所がありましたが、津軽・南部両藩の境界について確執が絶えませんでした。この係争に終止符をうつべく、両藩協議の末、上馬門・狩場沢の間に通称「四ツ森」と呼ばれる藩境塚を築きました。現在もこの塚は町界・郡界の基点として重要な意義を持っています。

明治4年の廃藩置県で、青森県第一大区、七小区に編入され、平内村の呼称で小湊に戸長役場がおかれしました。明治22年に町村制が布かれて東平内、中平内、西平内の3村に分かれておりましたが、昭和3年、中平内は小湊町として町制を布きました。

昭和30年3月31日、町村合併促進法に基づいて3町村が合併、町名を歴史的に意義深い平内町として現在に至っています。



はたい しんきし 畑井 新喜司

明治9年～昭和38年

世界的視野で生物学に貢献した 浅虫臨海実験所 初代所長。

明治9年に小湊村で生まれた畑井新喜司は、ミミズやシロネズミ、シロナマコなどの研究で知られる日本を代表する生物学者です。東奥義塾を経て東北学院理学科に学び明治32年に渡米。シカゴ大学大学院で学位を取得しその後ペンシルバニア大学動物学教授に就任、帰国後の大正10年には東北帝国大学理学部初代主任教授となり生物学教室を開設。大正13年には理学部附属浅虫臨海実験所を設立、初代所長として、またシロナマコ（畑井のシロナマコ）の研究によっても知られています。大正14年にはシロネズミの神経系の研究で帝国学士院賞を受賞。以後の動物実験にはシロネズミが多用されるようになります。多くの研究者が励まされたという「それは君、大変おもしろい、君ひとつやってみたまえ」の口癖は、浅虫臨海実験所の敷地内の碑に刻まれています。ホタテの養殖技術を研究するきっかけをつくったともいわれる畑井新喜司は、国際学者として世界的視野で生物学に貢献し実に多くの功績を残しました。



畑井新喜司
博士顕彰碑

名誉町民

たかはし ちくざん 初代 高橋 竹山

明治43年～平成10年

三味線から響く津軽の音色。 世界を駆けた竹山のバチ。

津軽三味線の演奏を芸術にまで高めた高橋竹山は、明治43年に小湊で生まれました。幼児期のはしかが原因で失明、食べるために隣村の戸田重次郎に弟子入りして三味線と唄を習い、貧困と戦いながら東北近県を門付けする暮らしを続けます。一度は鍼灸マッサージ師として故郷で開業するも、「津軽民謡の神様」成田雲竹の伴奏者として興行、「十三の砂山」「弥三郎節」などをアレンジした演奏で一世を風靡しました。

独立してからは津軽三味線の独奏という芸域を切り開き、即興曲「岩木」が高く評価されたことで全国に竹山ブームを巻き起こします。

演奏活動もさらに成熟の域に達した昭和52年、モスクワで初の海外演奏を成功させソウルやアメリカ各地を巡り、82歳の時にはパリでの演奏を叶えます。平成10年、87歳で天寿を全うするまで、繊細にして華麗な津軽三味線の音色は国内外の人々から絶賛され続け、亡くなった今でも憧れ心酔する人が後を絶ちません。



津軽と南部の境 県指定四ツ森(藩境塚)

江戸時代、弘前津軽藩と盛岡南部藩の間で藩境の争いが絶えなかったことから、奥州街道沿いに二本又川をはさみ津軽領の平内側と南部領の野辺地側に2つずつ、高さ3.5m・直径6mの丘のような盛土を築いて境界標としました。

昭和44年12月には県指定の史跡に指定されています。





子育て環境の充実と ともに躍動する町

伸び伸びと健やかに成長する園児たち

地域全体で支援する 子育て世代に優しいまち

自然豊かな環境は、子どもを健やかに成長させます。平内町は、安心して子どもを産み、健やかに育てていくことができる環境を目指して、地域全体で子ども・子育て家庭を支援するまちづくりを進めています。

子育てに関する各種支援制度や、子育て世代包括支援センター（おひさまひらな）の保健師や栄養士が、妊婦や子育て中の家族の悩みや不安に寄り添い、子育てをサポートします。



おひさまひらな

子ども・子育て支援社会へ
安心して子どもを
生み育てられる
豊かな自然環境の中
で

充実した支援制度 町が子育てをバックアップ！

- ・保育料完全無償化
- ・学校給食費無償化
- ・乳幼児・子ども医療費給付
- ・子育て世代包括支援センター（おひさまひらな）
- ・放課後児童クラブ、放課後子ども教室
- ・就学援助費補助金
- ・修学旅行費助成
- ・卒業アルバム作成費助成
- ・新入学児童生徒入学祝品給付



放課後子ども教室

盛況です「ふんちゃ」

藤沢活性化協議会では、2016年7月にローソン平内藤沢店の隣に無人直売所「ふんちゃ」をオープンさせ、藤沢の皆さんが作った安心安全な農産物を新鮮で購入しやすい価格で販売しています。

コミュニティ活動の中心となっており、希少なハタケシメジの通年栽培にも取り組んでいます。

外から人を呼び込み、町に新しい風を

人口減少の影響で町の活気が年々衰えつつありますが、地域おこし協力隊制度の活用や移住体験等の実施により、町外から人を呼び込むことで、産業の活性化や担い手の確保につなげています。



移住体験プログラム(農業体験)

町の豊かさを、大ききで測ることはできません。そこには田舎ならではの人情があり、あふれる笑顔があり、ほかでは色褪せてしまった時間が、生き生きと輝いています。

地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）について

今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念されます。

「地域計画」とは、将来誰がどの農地を耕作するのか、耕作できない農地はどこか、どんな作物を栽培するのか等を地図にして、今後の地域農業の姿を若年者や女性を含めた地域のみんなで作り上げていく将来計画です。

これまで地域のみんさんの努力で守り続けてきた農地を、次の世代に着実に引き継ぐため、今後も地域農業の実情に応じて定期的に「地域計画」を更新していきます。

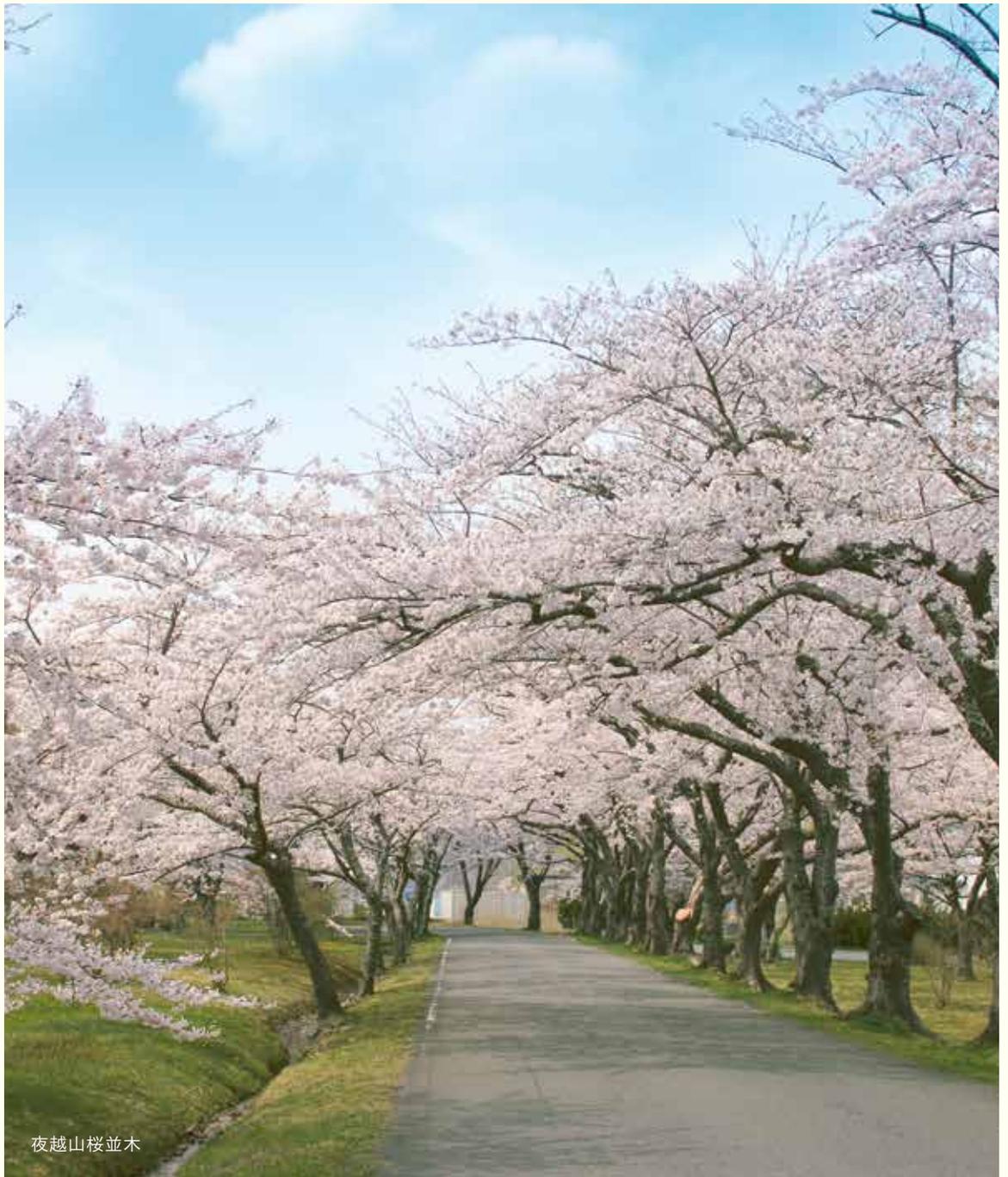


平内町地域振興計画説明会

魅力ある地域・人づくりと
ともに躍動する町

春

春は、雪布団をかぶっていた
冬の長い眠りから覚めるかのよう。
雪溶けと共に緑と花の彩りで野山を彩る。



夜越山桜並木

山々の雪解け水が川となり、大地から小さな命が芽吹くとき、ようやく「平内」にも春が訪れる。
大自然に恵まれた平内町のあちらこちらで野の花が咲き誇り、なつかしさにも似た土の香りとともに人々の心をなごませます。
4月から5月にかけて満開となる桜、ひらないの春まつりの主会場である夜越山森林公園は、約700本の桜が咲き乱れ並木道には桜のトンネルがとなり、多くの花見客で賑わう。
また、4月から6月にかけて国の天然記念物であるツバキ自生北限地帯のツバキが丘陵一帯を真紅に染め、その赤と緑の対比の美しさは、見物客の感嘆の声を誘う。



夜越山クロスカントリー大会



夏泊半島 椿山のヤブツバキ



フラワーロード



ホタテ釣り



大島ホタテ拾い



夜桜ライトアップ

夏

太陽の日を浴びて力強く燃える季節、
心の底から鼓動が沸き上がる…。
自然が織り成す生命の営みと人々の躍動！



ひらない夏まつり

梅雨がようやくあけ入道雲がわき立つころ、待ち焦がれた子どもたちは歓声をあげ海に飛び込む。

夏泊ほたてライン沿道の海水浴場では色とりどりのテントが張られ若者や家族連れで賑わいを増している。

また、平内音頭や名誉町民高橋竹山流の津軽三味線演奏など、地域ならではの音色が響くひらない夏まつり。帰省客も多く、懐かしい顔を見ては笑顔が溢れ、たくさんの人でにぎわう夏の風物詩となっている。



平内町はたちの成人式



小学校スポーツフェスティバル



よさこい演舞(ひらない夏まつり)



平内音頭流し踊り(ひらない夏まつり)



津軽三味線演奏(ひらない夏まつり)

秋

すんだ空気、海の青、キャンバスに
絵の具をこぼしたような色鮮やかな木々、
一年の実を膨らみます喜びと豊かさを収穫する、
豊穣の季節。



ほたての祭典(詰め放題コーナー)

稲穂が一面に頭をたれて収穫を待ちわびる秋、澄みきった青空と山々の赤や黄色に彩られた木々たちの見事なコントラストは絵画から抜け出したようでもある。

「平内」の秋は、ほたての祭典を皮切りにスタートする。秋晴れのもと夜越山森林公園は、ホタテ釣りなどホタテ一色のイベントで大賑わいを呈し、夏泊半島の景色を楽しみながら走る自転車イベントである夏泊半島ブルーロードライドも人気となっている。平内町商工会びっくり市と平内町民文化祭、平内町健康展を同時開催するひらな秋まつりでは、作品の展示や商工業者による即売など、一大イベントが繰り広げられ、それらを通じて人との輪が深まっていく。

やがて晩秋、大空を冬の使者、ハクチヨウが見事なフォーメーションで渡ってくる。



稲刈り体験(小学校)



夏泊半島 ブルーロードライド



健康展



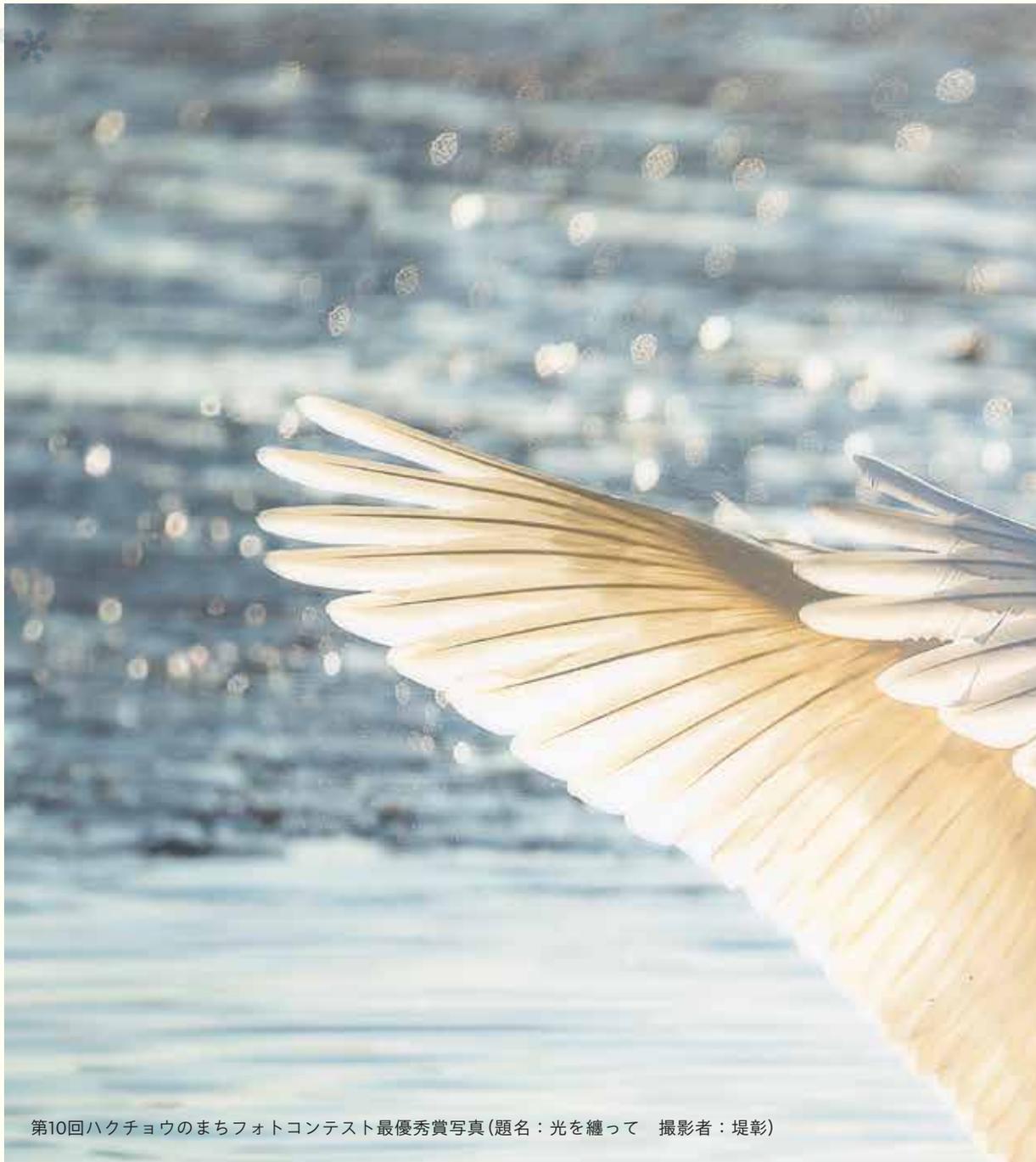
町民文化祭



商工会びっくり市

冬

純白のベールが街を覆う、シックなモノトーンの世界へ、
大空にはハクチョウの群れが北風をきる翼のささやき、
シンシンと降る雪の舞にみちのくの冬の訪れをつたえる。



第10回ハクチョウのまちフォトコンテスト最優秀賞写真(題名：光を纏って 撮影者：堤彰)

まばゆい彩りを見せた樹木
たちもひっそり静まり、降り
積もる雪、吐く息の白さに
思わず身を引き締める。標高
180mの夜越山スキー場は、
ゲレンデの斜面も緩急差が激
しく、このスキー場からは千
葉信哉、佐々木一成の両オリ
ンピック選手が生まれた。
また、夏泊半島一帯は、「小
湊のハクチョウおよびその渡
来地」として日本で唯一特別
天然記念物に指定されており、
特に浅所海岸では、冬の間オ
オハクチョウが優美な姿を楽
しませてくれる。やがて厳し
い寒さも緩む頃、甲高い声と
ともに白鳥の舞が繰り広げら
れ、遠いシベリアへの旅立ち
が春を告げる。



ハクチョウのまちシンポジウム



伝統芸能 発表会



スノーフェスティバル



夜越山洋ランまつり



白鳥まつり

冬のイベント・行事



平内町の 特産品

平内ホタテ活御膳

活ホタテの刺身、活ホタテのステーキ、ベビーホタテ寿司、ベビーホタテ澄まし汁、ホタテアイス。

産地ならではのホタテ尽くしおもてなし膳
※時期によって、料理内容が写真と異なることがあります。
ご了承ください。

活ホタテ

恵まれた大自然に産まれた貝の王様。
平内町はホタテの養殖発祥の地。育成ホタテ水揚げ高日本一の生産量を誇っています。
陸奥湾産ホタテの活貝は本州最北の厳しい寒さに鍛えられ、身が引き締まり、甘みが多く、刺身・天ぷら・鍋・串焼き・煮物とバラエティーに富んだ調理方法は他の追随を許しません。
特に現地ではおぼる新鮮な刺身や、味噌・醤油の香ばしさがたまらない貝焼きは、観光客を感動させます。
今では全国の市場にも発送されており、青森県を代表する海産物です。



のぼりが
目印!!



加工品各種

自然と風土に育まれた素材を生かした水産・農産加工品も好評。
干貝柱は、おつまみや、料理の素材・スープの出汁として威力を発揮します。ごはんのお供にピッタリな「ほたて味噌漬」や「ほたて甘露煮」は日々の食卓に。マヨネーズとドッキングしたユニークな缶詰「ほたてマヨネーズ」も人気もの。
また、ほたての貝ひもをカリッカリにした「カリポリ」もご当地の絶品おつまみとして全国的に人気となっています。

あどはだり

「あどはだり」は、ホタテの貝柱と野菜を原料としたかりんとうで、「おかわりする」や「もう一度ねだる」ことを津軽の方言で「あどはだり」といい、名前のとおり食べ終わっても、もっともっと食べたくなるかりんとうです。

心に残る四季折々の美しさ。自然の恵み豊かな平内町には、楽しさが溢れています。

夏泊エリア



自生北限のヤブツバキ



夏泊ゴルフリンクス



大島

夜越山エリア



サボテン園



夜越山オートキャンプ場



ケビンハウス



パークゴルフ場



夜越山スキー場

（平内町がめざす未来の姿）

基本理念

（1）健康長寿なまち

一人ひとりが健康に気を配り、あらゆる世代が活力ある生活を送れるまちづくりを進めます。

（2）力強い産業のまち

基盤産業の発展を後押ししながら、新たな産業や雇用の創出を図ります。若者や移住者が魅力を感じる職種・働き方・ライフスタイルの実現を図ります。

（3）風土を愛するまち

豊かな自然や伝統文化に親しみ、より快適で誇れる姿で次代へと引き継ぎます。

（4）ともに生き、支え合うまち

町民が支え合い、知恵を出し合い、また、地域と企業、大学、行政等が連携・協働して課題解決や活性化をめざします。

まちの将来像を実現する政策大綱

将来像の実現に向けて「4つの分野」と計画実現を支える行財政基盤で構成します。



●まちの将来像を実現する5つの具体的政策●

安全・安心・健康分野

基	本
施	策

すべての人が安全・安心、健康に暮らせる持続可能なまちづくりを目指して地域医療・介護体制の充実、社会基盤整備、防災・防犯対策などの充実に向けて、6つの基本施策に取り組めます。



子育て支援センター

●社会福祉の充実

●保健・医療・福祉の充実

●快適な生活環境の整備

●交通体系の充実

●消防・防災体制の充実

●交通安全・防犯対策の充実

社会福祉の充実

高齢者の自立支援及び要介護状態等の軽減・重症化防止の推進など、高齢者が、生活機能全体を向上させ、活動的で生きがいを持って生活を営むことができるように在宅福祉サービスの充実を図ります。

また、高齢者や障がい者が、社会における自身の役割を見だし積極的に社会に参加できるよう、社会環境の条件の整備に努めます。

子育て支援については、家庭における多様な保育ニーズに対応するため、関係機関と連携し、保育サービスのさらなる充実・整備を図り、児童虐待については関係機関との連携を深めながら、早期発見に努め、児童福祉サービスの一層の充実を図ります。

さらに地域の住民同士がより身近に集まれる居場所づくりを推進し、子どもから高齢者まで、だれでも参加できる活動を通して、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持等につなげます。



通いの場



メディコトリム教室

保健・医療・福祉の充実

町民一人ひとりが健やかに自分らしい生活を送ることができ、誰もが笑顔で暮らせるように、日常の健康づくりに積極的に取り組む環境づくりや意識啓発などを推進し、家庭・地域・行政が連携することで、「健康なまちづくり宣言」を実践するよう努めます。

また、医療については、町内の各診療所及び関係機関等と連携を図り、町内唯一の有床病院として中心的役割を担う平内中央病院の診療体制の維持・向上をめざし、住み慣れた地域で人生の最期まで安心して暮らせるよう、地域医療体制の充実・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築に努めます。

さらに地域における保健医療・福祉サービスを総合的に提供するため、保健・医療・介護・福祉の多様な職種や関係機関との連携協働による地域包括支援ネットワークの構築を進め、世代を超えて地域住民がともに支え合う地域づくりを推進します。



漁師の健康を考える会

快適な生活環境の整備

町民の生活基盤の充実を図るため、道路交通ネットワークの機能向上や維持管理、快適な住まいづくりを支援促進するための新築・リフォーム等の各種助成、空き家増加を抑制するための放置予防や利活用対策、危険・老朽空き家については適正管理や除却の支援を行うなど、総合的な取り組みを進めます。

また、おいしい水の安定供給と安全性確保や、下水道の普及・拡大に努め、花と緑にあふれる豊かで魅力的な地域と文化の創造、快適な都市空間の形成、地域社会の活性化を通じた持続可能な社会の実現に取り組みます。

交通体系の充実

通勤・通学・買い物や通院等のための移動を支える主な公共交通機関は町民バスであり、利用者が少ないながらも、運行を継続する必要があるため、効率的で地域ニーズに密着した路線となるよう、町と交通事業者が連携し、運行を継続する仕組みを検討していきます。

また、高齢化や若者世代の町外流出により、自家用車の利用が減少し、公共交通機関の必要性が高まると考えられるため、町民バス高齢者等無償化事業やデマンド交通等の実施により利便性を確保しながらも効率的で持続可能な交通体系の構築を図っていきます。

消防・防災体制の充実

災害から町民の生命・財産を守り、安心して暮らせる地域社会を築くため、平内町地域防災計画をもとに、町民にわかりやすい防災マニュアルの作成や町民の防災・防火意識の高揚と関係機関の連携による指導体制の強化に努めます。

また、近年多発している災害や事故に迅速かつ適切に対応できるよう、消防団組織・自主防災組織・行政の連携を強化し、訓練や情報の共有を徹底することで、有事に最大限の力を発揮できる体制づくりを図ります。

交通安全・防犯対策の充実

町民の交通安全対策の強化を図るため、家庭、学校、職場、地域との連携を取りながら交通安全教室を開催するなど、歩行者、運転者双方の交通マナーの向上に努めます。

また、子どもや高齢者、障がい者の一層の安全を確保するため、車道と歩道の分離を進めるとともに、歩道は段差のないバリアフリー化を進めます。

さらに、安心して日常生活を営むことができる犯罪のない明るい地域社会を築くため、警察や関係機関との連携を密にしながら地域ぐるみの防犯体制の充実を図ります。



消防団観閲式



防犯弁論大会



デマンド交通の実証運行



消防団出初式

●まちの将来像を実現する5つの具体的政策●

産業・雇用分野

基	本
施	策

多様な就業機会の創出や新しい産業の創出・育成から、活力あふれるまちづくりを目指し、地元企業・地場産業への支援、企業誘致の推進、着地型観光への支援など、4つの基本施策に取り組みます。



AoMoLink ~ (あomor地域ビジネス交流センター)
(東京都赤坂)

●持続的な農林畜産業への転換の推進

●水産業の振興

●商工業の振興

●観光の振興

持続的な農林畜産業への転換の推進

農林畜産業を持続的に支える仕組みづくりへと転換していくため、転作田で作付面積の多くを占める大豆やそばの生産から加工・販売までの6次産業化を進めるとともに、観光事業やイベント等と連携して地域農作物のPRなど情報発信を行います。

また、将来的に当町での農林畜産業に携わる担い手の増加や育成に繋がるよう、農林畜産業を体験できる場の提供を推進していくほか、労働力不足の解消のため、農協や障害者施設等との連携、[※]ICTを活用したスマート農業の導入による農作業の省力化にも取り組みます。

そのほか、町が管理する森林等の整備や高品質牛の生産に向けても、関係機関と一体となって取り組みます。



小湊小学校田植え体験

水産業の振興

これからの平内町ホタテガイ養殖は、後継者が働きやすい環境づくりや新規就業者の受け入れ体制づくり、地域の子どもたちへホタテガイ養殖の魅力を伝えるためのH-1グランプリや体験学習の強化など、後継者の確保に取り組んでいきます。

また、ホタテガイ養殖漁生産基盤業の充実を図り、町の基幹産業として維持・発展させるため、衛生管理施設の整備の検討、関係施設の老朽化対策等を進めるとともに、「平内ホタテ」の付加価値増や流通基盤強化、新商品開発に向けた取組を行い、ほたて広場、ひらないまるごとグルメ館をプラットフォームとして、[※]地産地消を促進し、地域ブランドとしての情報発信と消費拡大に取り組んでいきます。



ホタテPR活動

[※]ICT

「Information and Communication Technology」の略。情報通信技術。従来から使われていた「IT (Information Technology)」に替わって、通信ネットワークによって情報が流通することの重要性を意識して使用される言葉。

[※]地産地消

地域生産地域消費の略語で、地域で生産された様々な生産物や資源（主に農産物や水産物）をその地域で消費すること。

商工業の振興

地域の特徴を生かした県内ナンバーワンを目指すことを目標に掲げ、消費者サービスの充実、商店街の環境整備、起業者の育成と企業誘致などの取組を推進していきます。

また、インターネット通販の急速な浸透や大型商業施設の出店、人手不足の深刻化などの商工業を取り巻く著しい環境変化がもたらす、地元商店街、中小企業にとっての厳しい現状を打破するため、事業承継の推進、各融資制度の周知・活用の促進や利子補給および保証料補助の継続的な支援、起業や新産業創出へのサポートなどの地域に密着した経営支援について商工会と連携した取組を進めていきます。



ほたて広場

観光の振興

観光の振興では、「夏泊半島リゾート」を、全国から観光客が訪れる観光名所とすることを目標とし、「椿山・大島エリア」の整備、「夜越山森林公園エリア」の整備、「ほたて広場エリア」の整備などの取組を推進します。

今後は、地域資源を生かしたサイクリングやカヤックなどのアクティビティをはじめとした観光メニューの充実に取り組み、夏泊半島を四季を通じて楽しめるテーマパークとして、既存の観光施設も最大限活用しながら開発を進めます。また、「ほたて広場」と隣接する「ひらないまるごとグルメ館」を活用し、特産品である「平内ホタテ」を活用したコンテンツの充実にも取り組んでいきます。



ひらないまるごとグルメ館 ご当地レストラン「ホタテ一番」

「H-1グランプリ」地域の子もたちへホタテの魅力普及啓発



レシピ考案



料理教室(試作)



グランプリ発表



ホタテオムライス(グランプリ)

●まちの将来像を実現する5つの具体的政策●

環境分野

基	本
施	策

世界的に求められている循環型社会への転換を目指して、環境問題に対する意識啓発、ごみの減量化と再資源化の推進など、2つの基本施策に取り組みます。



小学校植樹体験

●自然環境の保全とエコ(ECO)対策の充実

●ごみ処理対策の推進

自然環境の保全と*エコ (ECO) 対策の充実

地球環境への負荷低減のため、循環型社会への転換が世界的に求められています。

当町の緑豊かな自然を未来の子どもたちに引き継いでいくためにも持続可能な美しいまちづくりには自然環境の保全とエコ (ECO) 対策の推進が必要です。

水産資源の宝庫である陸奥湾については、海洋ごみが環境汚染問題となっていることも要因の一つであることから、漁業者自らも海にごみを投棄しないなどの意識の高揚を図るとともに、子どもから大人まで環境意識の向上を図る啓発活動に努めます。また、「ポイ捨て」による不法投棄が後を絶たないため、関係機関と連携して監視体制の強化を図り、不法投棄をさせない環境づくりに努めます。

環境にやさしいエコ (ECO) のまちづくりの一つとして、「平内町地球温暖化対策実行計画」に基づき、町の組織及び施設における事務事業に関して電気・燃料使用量の削減や省エネルギー設備等の導入など、温室効果ガス排出量削減を目指しています。計画目標達成のため、毎年度、温室効果ガスの排出状況などを把握し、必要な対策を実施し、エコ (ECO) に繋がる美しい環境づくりに努めていきます。



陸奥湾の海と山をつなぐ植樹祭

ごみ処理対策の推進

当町では、「平内町一般廃棄物処理実施計画」や「平内町分別収集計画」に基づき、ごみ減量化と再資源化の対策に努めてきました。

平成30年度からはプラスチック製容器包装の回収、令和6年度からは資源として剪定枝の無料受け入れを実施し、リサイクル率向上の促進強化を図っておりますが、引き続き住民、事業者と行政が一体となってごみ減量化と再資源化に努めていきます。

生ごみを減らす3つの「きる」

食材はつかい「きる」料理は食べ「きる」生ごみは水気を「きる」

廃棄物の3Rで積極的な推進

- R e d u c e** (リデュース) ごみになるものを減らす (発生抑制)
- R e u s e** (リユース) ものをくりかえし使用する (再使用)
- R e c y c l e** (リサイクル) 資源として再び利用する (再生利用)

※エコ (ECO)

「ecology」の略で生態学のこと。「環境に配慮している」という意味につながる。また、「economy」の略で経済のこととも言われている。

環境と経済は密接につながっていて、どちらか一方だけが発展してもうまくいかず、環境に配慮しつつ経済の安定を実現することで、人々が安全で豊かな生活が送れるようにという意味で使われている。



リサイクルボックス



夏泊半島清掃活動



椿山海岸クリーンフェスティバル

●まちの将来像を実現する5つの具体的政策●

教育・人づくり分野

基	本
施	策

次代を担う子どもたちの教育環境の充実、またすべての町民の多様な経験、価値観を広げる機会の充実を目指し、人材育成、地域・家庭・学校が連携した教育への取組、社会教育、生涯学習などの活動の充実など、6つの基本施策に取り組めます。



旧3中学校を統合し開校した平内中学校

- 教育環境の充実
- 生涯学習のまちづくりの充実
- 芸術・文化の推進
- スポーツ・レクリエーションの振興
- 男女共同参画社会の推進
- 国際化への対応推進

教育環境の充実

児童・生徒がより良い環境の中で学校生活を送れるよう、地域の理解を得ながら統廃合による適正規模の学校づくりを進めるとともに、情報通信ネットワークを活用した情報教育を推進し、教育レベルの向上を図ります。

また、いじめや不登校などをなくし、豊かな心と他人を思いやることができる児童・生徒を育成するため、全教育活動を通じて道徳性の涵養に努めます。



租税教室(小学校)

生涯学習のまちづくりの充実

生涯学習へのニーズを的確に把握し、多方面にわたる学習プランの提供など、人材の育成、確保に努めます。

また、地域の活動拠点として、公民館やコミュニティセンターの開放を進め、利用を促進するなど活用団体等のネットワーク構築を図るとともに持続可能な仕組みづくりに取り組めます。



ひらないカレッジ

芸術・文化の推進

芸術・文化、伝統芸能等に興味関心を持てるような機会を創出し、保存・継承のための事業に取り組めます。

また、文化財の活用法を検討するとともに、地域の特色や産業、観光、教育など幅広い分野での連携を進め、総合的に取組を進めます。



伝統芸能「藤沢獅子舞」



ひらないジョブタウン&キッズマーケット

スポーツ・レクリエーションの振興

公共施設に関する個別計画や第六次長期振興計画に基づき、各施設の課題解消に努めます。

町民の誰もがスポーツ、レクリエーションに親しめるよう、活動の場の提供、コミュニティセンターや学校施設の開放を促進し、日常生活の中にスポーツやレクリエーション等を積極的に取り入れられるようにします。また、地域住民が自主的に運営する総合型地域スポーツクラブの運営を支援します。



綱引き大会

男女共同参画社会の推進

男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されるようになりつつあります。

男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、ともに責任を担うべき社会実現のため、学校や家庭、地域、職場などの社会のあらゆる分野において男女平等を推進する教育や学習の充実などの施策を図ります。

また、男女共同参画の視点に立った、真の男女共同参画社会の実現を目指します。



男女共同参画

国際化への対応推進

多様な分野の国際化に対応し、国際性豊かで行動力のある人材育成のため、外国語指導助手を活用し、生きた英語に触れる機会づくりや国際感覚の養成を推進します。

また、外国から来訪した人々に対する“おもてなしの心”や異文化理解を町民に啓発するとともに、外国人が日本文化・生活様式について学んだり、相談したりできる場を設け、地域の中でお互いを尊重しながら共生できる社会形成に努めます。



外国語指導助手マーティン先生の外国語授業風景

●まちの将来像を実現する5つの具体的政策●

計画実現に向けた体制

基本
施策

町民と行政が一体となったまちづくりを進めるとともに、質の高い行政サービスを継続的に提供する体制づくりを目指して、情報公開や個人情報の適切な管理や健全な行財政運営など、4つの基本施策に取り組みます。



左から渡辺伸一教育長、山田光昭副町長、船橋茂久町長、首藤邦昭病院事業管理者

●行政改革と町民参加による協働のまちづくりの推進

●財政運営の健全化

●高度情報システムの充実

●計画的な土地利用の推進

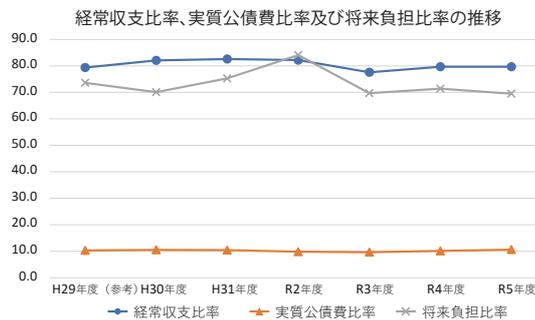
行政改革と町民参加による協働のまちづくりの推進

透明性が高く開かれた行政と効率的な行政を実現するため、情報の共有、情報伝達の迅速化を進めるとともに、複雑、多様化する住民ニーズに的確に対応できるよう職員の養成に努めます。

また、行政施策が町民に広く理解され、ともに実施できるよう、多くの機会に町民の参加を求め、行政主導のものづくり中心から、町民と協働のまちづくり活動を基本とし、将来的な見通しのもとに優先度の高い施策の実現を図るなど、効率的な行政を推進します。さらに、議会とも連携しながら事務事業の見直しによる統廃合やICTによる効率化と民間への委託などを引き続き進めます。



平内町役場



出前町政懇談会

財政運営の健全化

町民福祉の向上と活力に満ちた町民生活を実現するため、中長期的な社会経済活動を展望した財政運営に努め、長期振興計画、公共施設等管理計画や定員管理計画等との整合性を図りながら安定的な財源の確保と計画的・効果的な予算配分を追求します。

行政改革等によって人件費や公債費は縮減傾向であり、財政構造の弾力性を示す指標の1つである経常収支比率も概ね80%前後で推移し、類似団体比較におい

ても良好な状況ですが、今後は、庁舎更新や防災行政用無線設備更新により、物件費や公債費が増加傾向となることが予想される中で、人口減少対策や健康増進に関する事業などを継続的に実施する必要性があり、加えて施設等の老朽化に起因する財政支出は増加傾向となることから、新たな財源を見出しつつ、財政構造の急激な硬直が進まないよう財政運営の健全化を促進します。

高度情報システムの充実

自治体※DXの取組の推進と行財政の効率化を図るため、システム運用コストを考慮し、革新技術の導入の促進を含めたさらなるシステム最適化を図ります。併せて、運用体制の整備を進め、情報セキュリティのさらなる強化を図ります。

また、行政手続きの簡素化を図るためのオンライン手続きの導入など、行政手続きにおけるICT利活用の促進、官民データを含めた※オープンデータの利活用を進め、町民生活の利便性の向上を図ります。



窓口DX導入の検討に取り組む町職員

計画的な土地利用の推進

土地は町民の暮らしや産業活動の基盤であり、町役場や医療・福祉施設の集約する町の中心部や農林業や水質源確保を支える山間部、また美しい景観や貴重な自然環境が観光・文化的指定を受ける海岸部など地域の特性を生かしつつ後世へと引き継いでいかなければならない大切な財産です。

町土の利用は、国土利用計画法及び平内町国土利用計画を基本として、町民の福祉を優先に自然条件や産業基盤、社会環境などにも配慮します。また、森林などの自然環境を保全すべき地域と宅地などの開発地域の明確な区分のもと、地価の安定と町土の均衡ある発展を目標に総合的かつ計画的に推進します。



消防庁舎

※DX
デジタルトランスフォーメーションの略称。IT技術やビッグデータなどのデジタル技術を駆使して、業務プロセスや業務内容を変革することを指す。

※オープンデータ
国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータを指す。
1. 営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの
2. 機械判読に適したもの 3. 無償で利用できるもの

協働のまちづくりを目指し町民に開かれた議会

議会は平内町の二元代表制の一翼を担う機関として、積極的な情報の公開と政策活動への多様な町民参加の推進を図り、自己研鑽に努め、自由で活発な討議を行い、町長及び町行政機関との持続的な緊張関係の保持、公正・透明性の確保を遂行する決定機関であります。

平内町議会は「町民憲章」の下、「郷土“ひらない”を心から愛し、活気と魅力にあふれた住みよい町」の実現に向け、人と人、町民と行政が協働して質の向上を目指します。



議長 船橋 健人



副議長 木村 良一



議員一同

資料編

●自然・人口	30
●産 業	31
●保健・福祉	32
●環境・防災・治安	33
●教 育	34
●財 政（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）	35
●議 会	38
●年 表	39

町章

（昭和38年3月制定）



平内町の平と、白鳥を組み合わせ、これを椿の花で囲んだもので、白鳥の翼は、たゆみなき建設と飛躍発展をあらわします。

平内町民憲章

（昭和55年11月3日制定）

きびしい自然に順応して築かれた歴史をうけつぎ、郷土「ひらない」を心から愛し、活気と魅力にあふれた住みよい町とするために、誇りと責任をもって、この憲章を実践します。

- 一、自然のめぐみを深く感謝し、住みよい郷土を子孫に伝えるように努めます。
- 一、地の利を活かし、住みよい郷土とするように、海の幸、山の幸の豊かな町づくりに努めます。
- 一、人と人とのよりそいを大切にし、住みよい郷土とするために、きまりを守り、共に助け合い、世界に伸びゆく明日の日本人となるように努めます。

町の花、木、鳥

（昭和55年11月3日制定）



ツバキの花



マ ツ



白 鳥

町のキャラクター



オッホーくん
夜越山森林公園の
シンボルキャラクター



ウロボン
平内町公式キャラクター



ツバキちゃん
平内町マスコットキャラクター

(自然・人口)



【位置】

(町役場所在地)

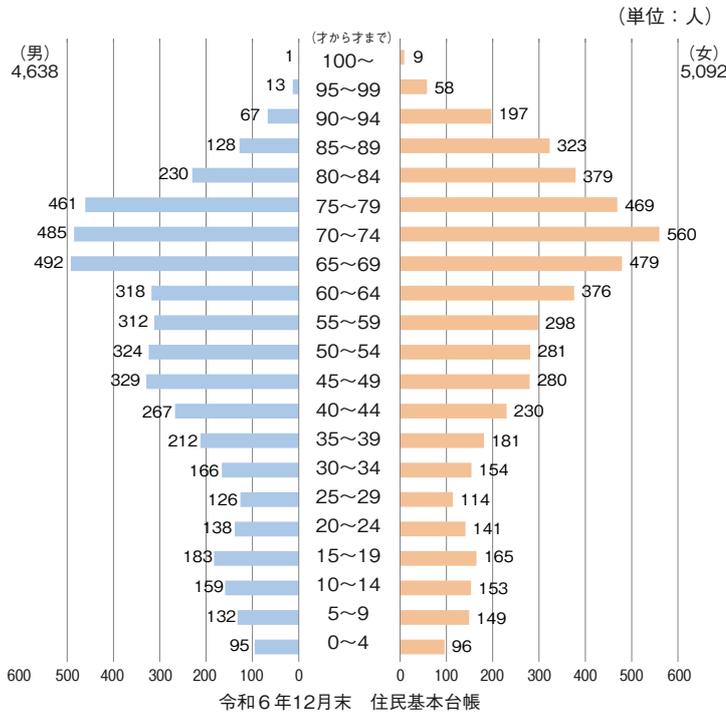
北緯	東経	海抜	広 ぼ う		近隣市町村	
			東 西	南 北	東	西
40°55'24"	140°57'33"	10m	20.64	23.22	野辺地町	青森市

【土地利用】

区 分	総面積	田	畑	宅 地	山 林	原 野	その他
面積(k㎡)	217.09	13.87	3.59	2.79	98.12	13.14	85.58
比率(%)	100.00	6.39	1.65	1.29	45.20	6.05	39.42

令和6年度固定資産概要調書報告書

【年齢・男女別人口構成比】



【人口および世帯数の推移】

年次	人 口			世帯数	1世帯 当たり 平均人員
	総数	男	女		
昭和50	17,175	8,451	8,724	3,982	4.3
昭和55	17,501	8,551	8,950	4,252	4.1
昭和60	17,246	8,363	8,883	4,345	4.0
平成2	16,103	7,674	8,429	4,350	3.7
平成7	15,441	7,284	8,157	4,335	3.6
平成12	14,528	6,924	7,604	4,371	3.3
平成17	13,483	6,411	7,072	4,274	3.2
平成22	12,361	5,851	6,510	4,177	3.0
平成27	11,142	5,275	5,867	3,971	2.8
令和2	10,126	4,818	5,308	3,796	2.7
令和3	10,422	4,990	5,432	4,844	2.2
令和4	10,187	4,869	5,318	4,803	2.1
令和5	9,948	4,744	5,204	4,764	2.1
令和6	9,730	4,638	5,092	4,729	2.1

昭和50年～令和2年は国勢調査、あみかけ部分は住民基本台帳(12月末)

(産 業)

【産業別事業所・従業者数】

産 業 分 類	事 業 所 数				従 業 者 数			
	平成18年	平成24年	平成28年	令和3年	平成18年	平成24年	平成28年	令和3年
農 業 ・ 林 業 ・ 漁 業	5	6	7	7	42	48	63	57
鉱 業	0	0	0	0	0	0	0	0
建 設 業	64	54	48	38	459	375	294	270
製 造 業	48	33	41	33	610	418	547	430
電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	3	0	1	1	10	0	3	4
運 輸 ・ 情 報 通 信 業	9	9	7	9	82	84	73	56
卸 売 ・ 小 売 業	172	136	119	97	615	572	458	411
金 融 ・ 保 険 業	9	15	6	5	76	155	52	44
不 動 産 業	3	7	6	6	5	11	13	13
飲 食 店 ・ 宿 泊 業	80	51	46	39	189	165	146	137
教 育 ・ 学 習 支 援	21	5	5	5	249	40	57	52
医 療 ・ 福 祉	41	27	26	28	539	433	507	498
サ ー ビ ス 業	131	92	99	89	792	385	663	556
公 務 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	11	-	-	-	170	-	-	-
総 数	597	435	411	357	3,838	2,686	2,876	2,528

平成18年は事業所・企業統計調査、平成24年～令和3年は経済センサス-活動調査

【産業別就業者の推移】(15歳以上)

(単位：人)

産業別	年 次	平成2	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
		総 数	8,029	8,218	7,489	6,931	6,133	5,745
第1次産業		2,858	2,440	2,055	1,906	1,693	1,591	1,391
農 業		774	621	392	334	235	215	190
林 業		125	74	90	43	74	46	41
水 産 業		1,959	1,745	1,573	1,529	1,384	1,330	1,160
第2次産業		2,038	2,341	1,843	1,570	1,277	1,174	1,004
鉱 業		18	29	21	1	6	7	4
建 設 業		918	1,156	1,078	830	609	624	521
製 造 業		1,102	1,156	744	739	662	543	479
第3次産業		3,128	3,435	3,589	3,455	3,154	2,931	2,696
卸 小 売 業		956	1,004	1,094	814	721	613	529
金 融 ・ 保 険 ・ 不 動 産		119	119	112	107	115	114	84
運 輸 通 信 ・ 電 気 ・ ガ ス ・ 水 道		398	400	393	310	311	261	236
サ ー ビ ス 業		1,405	1,652	1,734	1,975	1,795	1,733	1,640
公 務		250	260	256	249	212	210	207
分 類 不 能 の 職 業		5	2	2	0	9	49	79

国勢調査

（ 保健・福祉 ）

【国民年金加入状況】

(単位：人)

年度	区分	1号	3号	任意
平成30		1,653	310	11
令和元		1,573	284	7
令和2		1,484	259	5
令和3		1,461	243	8
令和4		1,414	230	11
令和5		1,340	207	17

資料：健康増進課

【国民年金受給状況】

令和5年度

区分	受給者数	年間総支給額 (千円)	一人平均支給額 (千円)
老齢年金	4,202	2,758,071	656
障害年金	450	406,135	903
遺族年金	17	13,537	796
寡婦年金	10	4,374	437

資料：健康増進課

【国民健康保険状況】

年度	区分	加入の状況(3月末)					収入の状況					医療費の状況			
		町世帯数	国保世帯数	加入率	町人口	国保被保数	加入率	保険税 (千円)	補助金等 (千円)	計 (千円)	一人当り 保険税 (円)	件数	一人当り 件数	費用額 (千円)	一人当り 費用額 (円)
平成30		4,951	2,089	42.2	11,016	3,780	34.3	608,876	1,387,175	1,996,051	158,603	71,535	19	1,531,251	398,867
令和元		4,907	2,059	42.0	10,791	3,677	34.1	575,431	1,264,027	1,839,458	155,061	70,524	19	1,429,896	385,313
令和2		4,882	2,021	41.4	10,531	3,563	33.8	546,527	1,276,472	1,822,999	151,855	65,304	18	1,370,072	380,681
令和3		4,826	1,983	41.1	10,298	3,454	33.5	561,998	1,218,734	1,780,732	159,161	65,249	18	1,341,707	379,979
令和4		4,801	1,908	39.7	10,074	3,263	32.4	537,973	1,255,315	1,793,288	159,541	62,588	19	1,379,619	409,140
令和5		4,761	1,829	38.4	9,823	3,100	31.6	543,264	1,151,468	1,694,732	170,302	61,034	19	1,261,184	395,355

資料：健康増進課

【検診状況】

区分	年度	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
特 定	対象者	2,630	2,598	2,540	2,393	2,282
	受診者	1,184	1,118	1,092	1,016	978
	受診率	45.0	43.0	43.0	42.5	42.9
	精密検査者	505	464	493	466	449
胃 が ん	対象者	7,896	7,885	7,822	7,723	7,624
	受診者	653	621	637	642	583
	受診率	8.2	7.8	8.1	8.3	7.6
	精密検査者	63	51	47	47	35
大 腸 が ん	対象者	7,896	7,885	7,822	7,723	7,624
	受診者	1,299	1,276	1,378	1,342	1,170
	受診率	16.4	16.1	17.6	17.3	15.3
	精密検査者	78	72	81	82	100
肺 が ん	対象者	7,896	7,885	7,822	7,723	7,624
	受診者	1,238	1,178	1,297	1,246	1,208
	受診率	15.6	14.8	16.5	16.1	15.8
	精密検査者	5	11	10	8	21
子 宮 が ん	対象者	4,984	4,984	4,898	4,775	4,697
	受診者	280	248	282	247	257
	受診率	5.6	4.9	5.7	5.1	5.4
	精密検査者	3	6	4	4	3
乳 が ん	対象者	4,248	4,242	4,213	4,141	4,095
	受診者	306	287	312	300	312
	受診率	7.2	6.7	7.4	7.2	7.6
	精密検査者	26	24	15	25	20

資料：健康増進課

（ 環境・防災・治安 ）

【水道】

令和6年3月末現在

	給 水		
	戸 数	人 口	普 及 率
上 水 道	3,770	9,457	96.71

資料：地域整備課

【下水道】

令和6年3月末現在

	排 水				
	戸 数	人 口	普及率	加入率	
平 内 町	4,761	9,879	74.7	41.9	
処 理 地 区 名	公共(平内処理区)	1,977	4,252	100.0	43.9
	薬師野処理区	121	189	97.4	93.1
	外童子処理区	72	117	95.1	95.7
	内童子処理区	113	222	100.0	95.5
	西平内処理区	404	869	96.6	84.8
	茂浦処理区	106	305	100.0	94.4
	東田沢処理区	219	506	100.0	74.5
	清水川処理区	408	923	85.1	40.0
計	3,420	7,383	86.0	56.0	

資料：地域整備課

【道路・橋りょう状況】

令和6年3月末現在

種 別	路線数・延長 (m)		整備済延長 (m)		未整備延長 (m)		整備率 (%)		橋 り よ う (m)			
	路線数	延 長	改 良	舗 装	未 改 良	舗 装	改 良	舗 装	永 久 橋		木 橋	
									箇所数	延 長	箇所数	延 長
1 級 町 道	21	39,731	34,508	29,938	5,223	334	87	75	21	452	0	0
2 級 町 道	18	22,280	14,880	14,158	7,400	1,686	67	64	6	81	0	0
そ の 他 町 道	238	76,202	65,966	62,013	10,236	750	87	81	17	500	0	0
計	277	138,213	115,354	106,109	22,859	2,770	80	73	44	1,033	0	0

資料：地域整備課

【火災発生状況】

年度	区分	発 生 件 数					損 害 額 (円)
		計	建 物	山 林 等	車 両 ・ 船 舶	そ の 他	
令和2		4	3	0	1	0	368,149,340
令和3		7	4	0	1	2	10,707,615
令和4		3	1	0	0	2	0
令和5		4	3	0	0	1	9,213,000

資料：平内消防署

【消防施設状況】

年度	区分	消 防 署		消 防 団			消 火 栓	防 火 水 槽 40t未満	防 火 水 槽 40t以上
		署 員	ポンプ車	団 員	分 団 数	ポンプ数			
令和2		36	2	283	18	33	250	40	85
令和3		39	3	280	18	33	252	40	84
令和4		40	3	268	18	33	252	40	84
令和5		40	3	265	18	33	253	40	85

資料：平内消防署

（ 教 育 ）

【小学校】

区分 学校名	児童数	教職員数	学級数
小 湊	238	20	13
東	47	13	7
山 口	68	14	9
計	353	47	29

令和5年度学校基本調査

【中学校】

区分 学校名	生徒数	教職員数	学級数
平 内	210	14	9
計	210	14	9

令和5年度学校基本調査

【町立図書館の蔵書数と利用状況】

令和6年3月末現在

区分 蔵書名	蔵書数	利用状況
計	41,145	7,220
総 記	1,335	280
哲学・宗教	1,065	61
歴史・地理	2,926	98
社会科学	3,747	91
自然科学	1,533	210
工 業	1,532	388
産 業	984	156
芸術・美術	2,473	521
言 語	488	51
文 学	16,101	3,976
児童図書	8,390	1,332
紙 芝 居	571	56

資料：町立図書館

【社会教育関係団体】

令和6年4月現在

数 団体名	団体数	会員数
子ども会	4	—
婦人会	9	76
公民分館	33	—
老人クラブ	25	532
P T A	4	555
スポーツ協会	15	320
文化協会	14	219

資料：生涯学習課

【令和5年海洋センター（プール）利用状況】

利用者別	月	7月	8月	計
幼 児		34	29	63
小・中・高校生		341	310	651
大学・一般		39	55	94
計		414	394	808

資料：生涯学習課

(財 政 I)

【令和6年度一般会計当初予算】

歳 入

科 目	予算額 (千円)	構成比 (%)
1. 町 税	840,403	10.9
2. 地 方 譲 与 税	70,864	0.9
3. 利 子 割 交 付 金	429	0.0
4. 配 当 割 交 付 金	2,304	0.0
5. 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,102	0.0
6. 法 人 事 業 税 交 付 金	7,600	0.1
7. 地 方 消 費 税 交 付 金	224,000	2.9
8. ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	12,000	0.2
9. 環 境 性 能 割 交 付 金	3,800	0.0
10. 地 方 特 例 交 付 金	6,157	0.1
11. 地 方 交 付 税	3,411,904	44.3
12. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	970	0.0
13. 分 担 金 及 び 負 担 金	8,071	0.1
14. 使 用 料 及 び 手 数 料	58,279	0.8
15. 国 庫 支 出 金	759,461	9.9
16. 県 支 出 金	638,166	8.3
17. 財 産 収 入	6,150	0.1
18. 寄 附 金	50,001	0.6
19. 繰 入 金	352,685	4.6
20. 繰 越 金	20,000	0.3
21. 諸 収 入	248,954	3.2
22. 町 債	975,700	12.7
計	7,700,000	100.0

歳 出

科 目	予算額 (千円)	構成比 (%)
1. 議 会 費	80,442	1.0
2. 総 務 費	1,667,862	21.7
3. 民 生 費	1,135,556	14.7
4. 衛 生 費	559,790	7.3
5. 労 働 費	14,944	0.2
6. 農 林 水 産 業 費	468,771	6.1
7. 商 工 費	212,604	2.8
8. 土 木 費	471,731	6.1
9. 消 防 費	393,870	5.1
10. 教 育 費	598,502	7.8
11. 災 害 復 旧 費	145	0.0
12. 公 債 費	669,645	8.7
13. 諸 支 出 金	1,425,138	18.5
14. 予 備 費	1,000	0.0
計	7,700,000	100

【町税の推移】

(単位：千円)

区 分	年 度				令和6年4月1日	令和6年4月1日
	令和2	令和3	令和4	令和5	現在の1世帯	現在の1人
					当たり負担額	当たり負担額
町 民 税	454,727	448,269	467,772	507,736	107	51
固 定 資 産 税	337,817	319,179	325,717	328,095	69	33
軽 自 動 車 税	33,356	33,940	35,885	35,840	8	4
た ば こ 消 費 税	70,468	77,879	81,026	78,842	17	8
計	896,368	879,267	910,400	950,513	201	96

(財 政 Ⅱ)

【一般会計決算状況】

歳 入

(単位：千円)

項目	年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
町 税		1,027,376	886,352	896,368	879,267	910,400	950,513
地 方 譲 与 税		49,783	59,837	71,034	71,832	75,611	76,092
利 子 割 交 付 金		1,860	1,144	1,175	842	502	414
配 当 割 交 付 金		1,855	2,819	2,446	3,599	2,695	3,099
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		1,578	1,606	2,836	3,284	1,763	3,317
法 人 事 業 税 交 付 金				2,386	6,287	8,578	10,848
地 方 消 費 税 交 付 金		188,082	177,310	220,870	238,050	237,925	235,165
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		12,029	10,594	8,940	10,739	11,335	12,338
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金		0	0	0	0	0	0
自 動 車 取 得 税 交 付 金		12,181	9,107	1	0	232	286
環 境 性 能 割 交 付 金				3,566	3,842	4,068	4,939
地 方 特 例 交 付 金		4,247	12,691	7,669	12,907	6,660	6,909
地 方 交 付 税		3,017,950	3,046,436	3,265,587	3,599,582	3,585,568	3,634,809
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,012	952	1,045	1,008	858	927
分 担 金 及 び 負 担 金		41,385	37,452	43,809	38,873	31,269	7,625
使 用 料		35,750	36,206	34,238	31,239	35,210	36,787
手 数 料		24,573	23,700	24,336	22,561	23,096	22,345
国 庫 支 出 金		626,376	640,729	2,074,920	1,486,758	1,220,118	916,960
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金		0	0	0	0	0	0
都 道 府 県 支 出 金		677,382	704,878	723,635	679,621	729,363	710,340
財 産 収 入		6,766	7,632	6,796	17,997	11,368	7,154
寄 附 金		8,528	17,640	9,303	24,421	47,432	67,435
繰 入 金		22,254	113,856	220,050	54,049	121,047	143,983
繰 越 金		147,137	92,694	73,783	165,169	78,686	91,770
諸 収 入		77,453	130,892	144,735	316,677	269,255	280,932
地 方 債		686,300	1,015,700	1,648,500	657,111	1,049,688	492,190
歳 入 合 計		6,671,857	7,030,227	9,488,028	8,325,715	8,462,727	7,717,177

歳 出

(単位：千円)

項目	年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
議 会 費		91,451	88,796	78,280	74,474	73,658	67,850
総 務 費		769,256	1,033,995	2,246,178	918,967	1,140,293	1,156,730
民 生 費		1,047,981	1,076,606	1,082,157	1,284,688	1,283,977	1,296,190
衛 生 費		378,282	462,851	493,321	775,689	664,832	723,341
労 働 費		47,316	12,685	14,032	24,562	11,384	16,613
農 林 水 産 業 費		485,148	459,004	521,572	538,572	453,694	490,585
商 工 費		241,081	237,007	216,739	313,380	225,650	205,640
土 木 費		600,061	476,476	692,228	881,673	545,842	391,861
消 防 費		353,804	581,492	1,198,100	483,480	363,422	377,982
教 育 費		543,639	536,484	715,248	540,402	1,367,420	587,073
災 害 復 旧 費		79	126	120	123	21,366	122
公 債 費		557,669	507,034	492,126	547,734	609,397	641,507
諸 支 出 金		1,398,396	1,393,888	1,492,758	1,773,285	1,530,022	1,526,650
うち特別会計繰出金		1,337,077	1,382,888	1,438,250	1,492,337	1,458,636	1,501,777
うち基金費		61,319	11,000	54,508	280,948	71,386	24,873
(予 備 費)		0	0	0	0	0	0
歳 出 合 計		6,514,163	6,866,444	9,242,859	8,157,029	8,290,957	7,482,144

（ 財 政 Ⅲ ）

【特別会計決算状況】

(単位：千円)

区 分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	歳入	歳出										
国民健康保険	2,221,538	2,132,466	2,069,520	1,984,939	2,049,726	1,937,025	2,032,512	1,943,165	2,028,808	2,002,287	1,867,714	1,824,843
索道事業(リフト)	28,696	25,490	26,415	25,988	23,800	23,390	24,792	24,442	24,481	24,242	28,492	26,710
農業集落排水	147,900	147,165	149,381	148,842	154,486	153,844	151,036	149,295	155,662	154,162	137,223	134,607
漁業集落排水	169,177	168,759	198,162	197,616	96,292	95,819	106,176	105,047	166,579	115,058	115,062	115,369
公共下水道	373,127	372,578	409,903	409,001	399,869	399,323	415,195	414,858	465,889	465,172	364,141	362,279
介護保険	1,287,044	1,253,485	1,293,384	1,251,429	1,346,399	1,333,623	1,385,168	1,364,436	1,481,427	1,377,986	1,548,275	1,413,576
後期高齢者医療	316,175	315,589	313,131	309,792	330,049	327,897	320,932	318,779	335,605	333,625	371,734	368,647
計	4,543,657	4,415,532	4,459,896	4,327,607	4,400,621	4,270,921	4,435,811	4,320,022	4,658,451	4,472,532	4,432,641	4,246,031

【事業会計決算状況】

病院事業

(単位：千円)

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出	
収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
1,421,401	1,373,082	259,007	330,610	1,433,255	1,389,008	171,130	247,337	1,528,580	1,472,199	220,701	305,532
令和3年度				令和4年度				令和5年度			
収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出	
収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
1,535,391	1,470,720	223,496	308,501	1,549,051	1,538,098	181,421	265,047	1,554,667	1,512,344	187,747	272,652

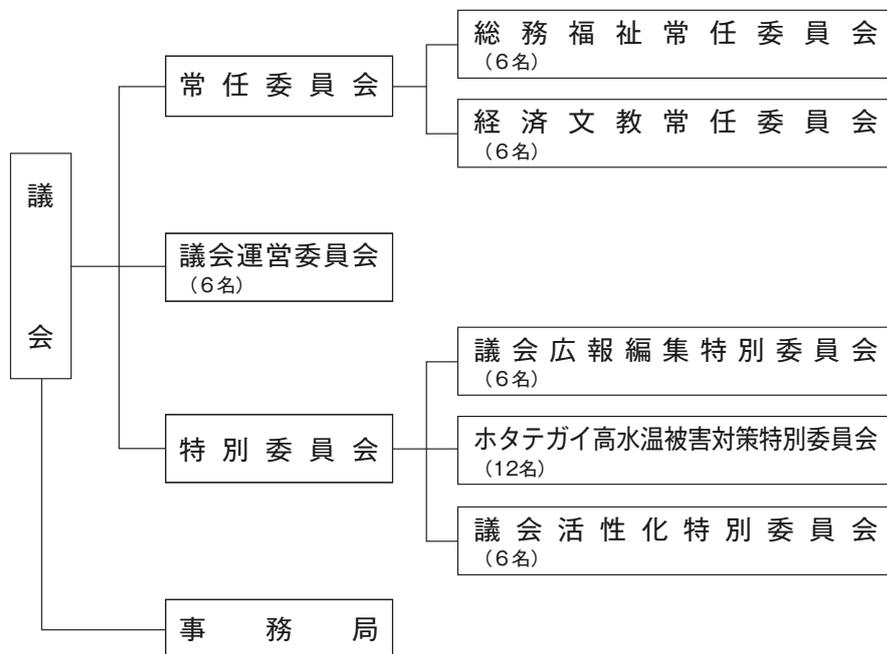
水道事業

(単位：千円)

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出	
収入	支出										
318,828	246,534	80,407	252,906	318,945	247,589	87,740	250,138	317,813	235,832	102,031	259,909
令和3年度				令和4年度				令和5年度			
収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出		収益の収入及び支出		資本の収入及び支出	
収入	支出										
312,933	233,203	58,708	209,999	308,987	241,890	102,853	240,081	306,864	240,178	93,770	231,682

議 会

●議会の構成●



【議員名簿】(定数12名)

職名	議席番号	氏名
議長	12	船橋健人
副議長	11	木村良一
議員	1	船橋侑雅
〃	2	荒内護
〃	3	内海伸
〃	4	田中大
〃	5	亀田弘徳
〃	6	田中茂勝
〃	7	太田満則
〃	8	倉内清一
〃	9	畑井勝廣
〃	10	田中光弘

(任期：令和6年3月31日～令和10年3月30日)

【議会運営委員会及び常任委員会】

職名	議会運営委員会	総務福祉常任委員会	経済文教常任委員会
委員長	倉内清一	田中茂勝	亀田弘徳
副委員長	田中茂勝	倉内清一	田中光弘
委員	荒内護	内海伸	船橋侑雅
〃	亀田弘徳	田中大	荒内護
〃	太田満則	太田満則	畑井勝廣
〃	田中光弘	船橋健人	木村良一

(任期：令和6年4月9日～令和8年4月8日)

【特別委員会】

職名	議会広報編集特別委員会	ホタテガイ高水温被害対策特別委員会	議会活性化特別委員会
委員長	太田満則	田中光弘	田中光弘
副委員長	田中光弘	倉内清一	荒内護
委員	船橋侑雅	船橋侑雅	船橋侑雅
〃	荒内護	荒内護	内海伸
〃	内海伸	内海伸	亀田弘徳
〃	田中茂勝	田中大	木村良一
〃		亀田弘徳	
〃		田中茂勝	
〃		太田満則	
〃		畑井勝廣	
〃		木村良一	
〃		船橋健人	

(任期：令和6年4月9日～令和10年3月30日) (任期：令和6年4月9日～調査が終了するまで) (任期：令和6年6月14日～調査が終了するまで)

（ 年 表 ）

西暦	年号	主 な 出 来 事
1955	昭和30	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月31日旧小湊町、東平内村、西平内村の全区域をもって合併平内町が発足し、4月1日小湊小学校に来賓461名を招き合併祝賀会を挙行 ● 町村合併により小湊警察署を平内警察署と改める ● 5月12日町長選挙、細川重太郎氏当選 ● 茂浦地区に診療所開設
1956	31	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡易水道第1期、第2期工事着手 水源地小湊川上流、貯水池夜越山中腹、電動ポンプにて送水、水道供給
1957	32	<ul style="list-style-type: none"> ● 簡易水道工事完成、給水戸数292戸、給水人口2,014人 ● 第1回町民体育大会開催 ● 西平内中学校創立10周年記念式典挙行 ● 東平内中学校創立10周年記念式典挙行
1958	33	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月3日第1回町民大会開催 ● 8月16日夏泊一周道路開通式挙行、一周バスの運行開始 ● 3月1日小湊振興農協、東平内村農協、西平内村農協が合併、平内町農業協同組合誕生 ● 9月18日台風21号、9月27日台風22号来襲床上浸水237世帯、損害2億7千万円、災害救助法発動、対策本部を役場に設置 ● 10月青森市交通部小湊営業所開設 ● 東平内中学校外童子分校廃止、東栄小学校に併置し、東栄中学校となる
1959	34	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月31日をもって平内警察署廃止され、青森警察署平内警察部派出所となる ● 6月13日平内町森林組合発足 ● 6月平内畜産農協、平内町農協に吸収合併 ● 道路整備事業として盛田線、平内・野内畑線、小湊・内童子線、清水川・外童子線等の工事を施工
1960	35	<ul style="list-style-type: none"> ● 9月平内町林業会館竣工落成 ● 清水川小学校、口広小学校廃止、統合清水川小学校創立
1961	36	<ul style="list-style-type: none"> ● のり養殖防波柵助成事業の実施 ● 9月1日平内警察部派出所の名称を改め、平内警察官派出所となる ● 町褒賞条例制定 ● 12月26日町長選挙、船橋茂氏当選（口広投票場不在事件による改選） ● 12月26日平内町商工会発足 ● 公益質屋廃業

西暦	年号	主 な 出 来 事
1961	昭和36	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業協同組合の平内一体化、平内町農業協同組合に小湊農協、東田沢農協合併
1962	37	<ul style="list-style-type: none"> ● 浦田小・中学校新築工事施工 ● 5月21日青森少年院建設工事施工 ● 7月25日大町桂月記念歌碑夏泊岬に建立 ● 小湊郵便局駅通りに新築 ● 9月1日～2日第17回青森県青年団体育大会が町営グラウンドで開催 ● 青森地方タバコ耕作者組合平内支部発足 ● 6月13日平内町が全国緑化大会の植樹祭開催地に決定
1963	38	<ul style="list-style-type: none"> ● 2月3日第1回町民スキー大会を夜越山にて開催 ● 3月19日町章制定 ● 4月17日船橋祐太郎氏県会議員に当選 ● 4月19日平内出身畑井新喜司博士（88歳）没 ● 5月25日平内郷土史年表発行 ● 狩場沢小学校新築工事施工 ● 土屋地区が水道布設工事施工 ● 5月20日天皇、皇后両陛下下奉迎、全国緑化大会並びに植樹祭を夜越山にて開催 ● 平内郷土史研究会会長佐々木高精氏御座所に土器を陳列し天覧の栄を賜わる ● 救護施設白鳥ホーム開設 ● 10月15日青森銀行小湊支店新築落成 ● 11月3日小湊小学校創立90周年記念式挙行 ● 統合清水川小学校が清水川口広小学校に改称 ● のり人工採苗場建設工事施工
1964	39	<ul style="list-style-type: none"> ● 東田沢漁港県移管 ● 児童館建築工事施工 ● 町営プール新設工事施工 ● 東田沢小学校新築工事施工 ● 茂浦診療所新築、移動役場開設 ● 家庭教育学校開設 ● 10月2日オリンピック聖火リレー当町通過
1965	40	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月3日合併10周年記念式典及び福取山に記念植樹 ● 8月7日常陸宮両殿下御来町 ● 児童館落成 ● 市町村対抗県民体育大会開催 ● 8月17日青森少年院収容開始 ● 消防団常備部設置
1966	41	<ul style="list-style-type: none"> ● 1月5日融雪災害発生、損害額717万1千円 ● 第1回青森県観光漁業祭開催 ● 山口小学校創立90周年記念式典挙行

西暦	年号	主な出来事
1966	昭和41	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月31日をもって東・西両支所及び東田沢出張所廃止 ● 10月13日夜半より翌14日早朝にかけて集中豪雨による災害発生、死者3人、全壊流失家屋29戸、半壊64戸、損害額30億円余、災害救助法発動、災害対策本部を役場に設置 ● 東田沢診療所新築
1967	42	<ul style="list-style-type: none"> ● 藤沢地区に公営住宅35戸建設 ● 土屋小学校新築、東田沢中学校教員住宅建築 ● 西地区公民館完成 ● 常陸宮両殿下、浅所海岸で白鳥御観覧 ● 役場庁舎新築落成 ● ホタテ貝養殖研究始まる
1968	43	<ul style="list-style-type: none"> ● 4月1日県水産増殖センター竣工 ● 消防庁舎新築 ● 町営牧場設置 ● 明治100年記念植樹実施（福取山） ● 5月16日午前9時49分十勝沖地震発生 被害額1億2,755万円（田ノ沢、中村両溜池堤防亀裂を生じ、下流住民避難） ● 中央病院本館竣工（建設費2億943万円） ● 10月1日東北本線の複線電化により急行夏泊号小湊駅に停車
1969	44	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月24日豪雨(台風9号)により平内災害となり、浸水家屋597戸、被害額2億6,538万円 ● 山口小学校前国道横断歩道橋完成 ● 東地区公民館完成 ● 夜越山スキーリフト建設、延長482m、2,400万円 ● 清水川口広小学校在東小学校に改称
1970	45	<ul style="list-style-type: none"> ● 3月2日管内6漁協合併、平内町漁業協同組合発足 ● 4月1日平内町常備消防部は、野辺地平内地区消防事務組合の平内消防署となる ● 国鉄西平内駅無人化実施 ● 白鳥大橋完成 ● 東小学校統合10周年記念式典挙行
1971	46	<ul style="list-style-type: none"> ● 8月18日災害復旧祭執行（記念碑建立） ● 婦人消防協力隊結成（東和・中野地区） ● 老人憩の家「夜越山荘」完成 ● 国立青森療養所廃止
1972	47	<ul style="list-style-type: none"> ● 花卉温室設置、サボテン園開設 ● 第1回町民体育まつり開催 ● 双子へき地保育所開設 ● 平内町災害復興記念碑新設

西暦	年号	主な出来事
1973	昭和48	<ul style="list-style-type: none"> ● 5月15日町立体育館完成落成式挙行 ● 公民館白砂分館完成 ● 内童子へき地保健福祉館落成 ● 平内町漁協組合事務所（漁民センター）落成 ● 青森地域広域事務組合平内清掃工場（中野）稼働 ● 11月3日小湊小学校創立100周年記念祝賀式挙行
1974	49	● 大和山に松風塾高等学校開設
1975	50	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合小湊小学校新築落成（50年度より開校） ● 藤沢小学校、小湊小学校と統合により廃止（閉校式3月） ● 夜越山サボテン園に熱帯果樹導入 ● 管内全地域にごみ収集業務開始 ● 交通公園完成（面積2.5ha道路延長1,070m） ● 福祉バス配車（県費補助1/3） ● 10月27日平内町合併20周年記念式典挙行 ● 公民館藤沢分館完成 ● 夏泊地区簡易水道新設工事完工
1976	51	<ul style="list-style-type: none"> ● 夏泊地区簡易水道完成（49年～51年継続事業） ● 公民館盛田分館完成 ● 平内町農業振興計画策定 ● ホタテへい死対策特別委員会設置 ● 東平内中学校創立30周年記念式典挙行
1977	52	<ul style="list-style-type: none"> ● 常陸宮両殿下、浅所海岸の白鳥と夜越山のサボテン園御視察 ● 小湊大橋の歩道橋完成 ● 平内町新総合開発計画書策定 ● 山村開発センター完成（8月10日オープン） ● 平内町史上・下巻を発刊 ● 東田沢小、狩場沢小、東小、茂浦小、内童子小学校創立100周年記念式典挙行 ● 東栄小、中学校創立20周年記念式典挙行 ● 公民館浅所分館完成
1978	53	<ul style="list-style-type: none"> ● 青森県精神薄弱者総合福祉センター「なつどもり」落成（4月20日開所） ● 外童子へき地保健福祉館新築落成 ● 常陸宮両殿下、当町茂浦にある県水産増殖センター御視察 ● 浅所小学校創立100周年記念式典挙行 ● 平内地区防犯指導隊結成 ● 10月22日国体記念夏泊半島駅競走大会開催
1979	54	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑の村整備事業の指定、歴史民俗資料館落成 ● 夜越山に青森県青少年の森開園 ● 浅所海岸に白鳥観察所新築落成

西暦	年号	主な出来事
1980	昭和55	<ul style="list-style-type: none"> ●青森県立青森商業高等学校定時制課程小湊分校閉校 ●東田沢中学校閉校 ●統合小湊中学校新築落成（4月開校） ●青森県立青森東高等学校平内分校開校 ●夜越山にスーパースライダー、テニスコート、バレーコート、クローカーゴルフ竣工（緑の村整備事業） ●町営野球場完成、町営陸上競技場完成 ●「平内町民憲章」の制定と町の「花・木・鳥」を指定（11月3日） ●青森県方法務局平内出張所庁舎落成 ●平内町一般廃棄物処理施設（外の沢埋立地）供用開始 ●山口小学校増田分校閉校
1981	56	<ul style="list-style-type: none"> ●緑の村管理センター落成 ●平内町文化協会、浅所海岸松島に句碑建立 ●平内町東田沢集落圏防雪管理センター落成 ●内童子小学校新築落成 ●肉メン羊の観光牧場完成 ●10月27日町民憲章碑の竣工除幕式挙行政
1982	57	<ul style="list-style-type: none"> ●青森県立青森東高等学校平内分校定時制閉校 ●勤労青少年ホーム、図書館オープン ●狩場沢小学校助白井分校創立60周年記念式典挙行政 ●平内西部土地改良区ほ場整備事業竣工 ●平内町戦傷者平和記念碑除幕 ●東平内中学校新築落成
1983	58	<ul style="list-style-type: none"> ●特別養護老人ホーム「清風荘」開園 ●青森県立平内高等学校開校 ●小湊港東滝緑地公園開園 ●浦田小学校100周年、浦田中学校30周年記念式典挙行政 ●狩場沢地区簡易水道完成 ●平内町農業協同組合小湊支店開業 ●小湊小学校創立110周年記念式典挙行政 ●平内町森林組合新築落成
1984	59	<ul style="list-style-type: none"> ●サラエボ冬季オリンピックに千葉信哉、佐々木一成両選手出場 ●平内町商工会館新築落成 ●薬師野農業構造改善センター落成 ●公民館小豆沢分館完成 ●みちのく銀行小湊支店開店 ●浜子地区総合研修センター落成
1985	60	<ul style="list-style-type: none"> ●婦人学級第1回芸能発表会開催 ●ホタテ養殖に強い味方、水温計測機平内漁協に導入 ●町制施行30周年記念に町職員労働組合で椿の里づくりを目指し公共機関・公共施設等に苗木610本余り植樹

西暦	年号	主な出来事
1985	昭和60	<ul style="list-style-type: none"> ●誘致企業青森クリエーション平内工場操業開始 ●都市計画用途地域決定 ●町制施行30周年記念式典挙行政、常陸宮同妃両殿下白鳥台覧記念碑建立 ●浦田中学校閉校、西平内中学校と統合 ●公民館浦田分館完成
1986	61	<ul style="list-style-type: none"> ●夜越山公園内にB & G財団平内海洋センター竣工 ●統合西平内中学校新校舎落成 ●公民館狩場沢分館完成
1987	62	<ul style="list-style-type: none"> ●千代谷定五郎氏、西武館建設 ●第三次平内町長期振興計画策定 ●第38回青森県植樹祭、夜越山森林公園で開催 ●佐々木善之助氏町長就任 ●平内町武道館完成 ●稲生漁民センター完成
1988	63	<ul style="list-style-type: none"> ●カナダ・カルガリー冬季オリンピックに千葉信哉、佐々木一成両選手出場 ●精神障害回復者共同作業所開設 ●土屋小学校創立100周年記念大運動会実施 ●平内町企業誘致東京事務所開設 ●双子へき地保育所完成（浦田）
1989	平成元	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和天皇崩御 ●浅所小学校屋内運動場完成 ●第1回郷土サマーフェスティバル開催 ●夜越山森林公園管理事務所完成 ●公民館松野木分館完成 ●土曜日閉庁試行開始（役場）
1990	2	<ul style="list-style-type: none"> ●平内中央病院無料送迎バス運行開始 ●山口小学校新築落成 ●田茂木へき地保育所新築落成
1991	3	<ul style="list-style-type: none"> ●平内町奨学金貸付制度開始 ●平内町総合オンラインシステム稼働 ●全国初「海の電話」マリーンホーン平内漁協で開局 ●ブルーロード・ウォーク夏泊事業開始 ●県道夏泊公園線浅所バイパス（東和～間木）供用開始 ●東和コミュニティセンター完成
1992	4	<ul style="list-style-type: none"> ●アルベールビル冬季オリンピックに佐々木一成選手出場 ●デイ・サービス事業開始、「清風荘」と運営委託契約を締結 ●町議会議員定数24人から20人に削減 ●東田沢小学校野内畑分校閉校 ●平内町漁業協同組合で組太鼓「ほたて太鼓」誕生 ●地場産業育成支援事業MTB（マウンテンバイク）競技夜越山大会（イーグルカップイン夜越山）開催

西暦	年号	主な出来事
1992	平成4	●東小学校新築落成 ●浪打コミュニティセンター完成
1993	5	●ホタテ貝殻粉碎工場操業開始 ●茂浦小学校新築落成
1994	6	●山の手コミュニティセンター完成 ●リレハンメル冬季オリンピックに佐々木一成選手出場 ●浅所小学校校舎新築 ●東栄中学校閉校、東平内中学校と統合 ●町社会福祉協議会が移動入浴車での入浴事業開始 ●30年に一度の開花「アガベ」サボテン温室で花をつけ話題となる ●よごしやま温泉・平内いきいき健康館8月5日オープン ●第1回夜越山公園カトレアフェア開催 ●茂浦コミュニティセンター完成 ●夜越山スキー場ペアリフト・ヒュッテ竣工
1995	7	●兵庫県南部地震災害義援金を町民から募り地震対策本部に贈る(3,816,146円) ●地震被災地へ町職員4人派遣 ●宗教法人松緑神道大和山で『青垣の山』が林野庁から『水源の森百選』に認定 ●夏泊ゴルフリンクスで県内で初めて、第63回日本プロゴルフ選手権大会開催 ●町制施行40周年記念事業として夜越山に記念植樹 ●畑井新喜司博士顕彰碑建立・同博士伝記出版・記念式典挙行《名誉町民、平内一番大賞》 ●逢坂雄一氏町長就任 ●中野コミュニティセンター完成
1996	8	●青山祐治氏助役就任 ●薬師野・外童子地区農業集落排水事業竣工式典挙行 ●平内中央病院開院 ●平内町在宅介護支援センター・ショートステイ専用棟落成 ●藩境塚周辺整備完了 ●『椿山海岸』日本の渚百選に選ばれる ●佐々木慶紀氏教育長就任 ●高橋竹山氏直弟子竹与さんに『竹山』の名継承 ●野辺地平内地区消防事務組合の平内消防署から北部上北広域事務組合の平内消防署となる
1997	9	●行政大綱に基づき、役場機構改革を実施 ●平内町ホームページ開設 ●“白鳥おじさん”こと島山正光氏の胸像が浅所海岸に完成 ●船橋善徳氏収入役就任 ●全国育樹祭お手入れ行事で皇太子同妃両殿下御来町 ●管内三中学校50周年記念式典挙行

西暦	年号	主な出来事
1997	平成9	●ホタテの消費拡大、地域の活性化を目的に、ほたての祭典'97が夜越山森林公園にて開催 ●東滝コミュニティセンター完成
1998	10	●初代高橋竹山氏逝去(本名定蔵) ●ハイビジョンソフト「烈 津軽三味線師、高橋 竹山」映像制作監理会議特別賞受賞 ●蝦名昭彦氏助役就任 ●宿泊施設夜越山ケビンハウスオープン ●植村正治氏全漁連会長就任 ●夏泊公園線の愛称名が「夏泊ほたてライン」に決定 ●白鳥観察所がリニューアル ●子ども議会開催 ●歴史民俗資料館で初代高橋竹山展開催 ●山口コミュニティセンター完成 ●夜越山スキー場に研修所完成(盛みつ氏寄贈)
1999	11	●学校給食センター完成、2月8日に全小中学校児童生徒を対象に開始 ●加固紀夫氏平内中央病院院長就任 ●平内中央病院、高齢化と長期入院患者の増大に対応するため療養型病床実施 ●日仏親善柔道交流平内大会開催 ●「ホタテの日」を記念して夏泊大島パークに養殖顕彰碑建立 ●さかなの港町同窓会in青森県平内大会開催(本県では、2ヶ所目の開催地) ●資源ごみ分別収集事業開始
2000	12	1月●「白鳥おじさん」こと島山正光氏逝去 2月●茂浦漁港漁業集落環境整備事業施設及び清水川コミュニティセンターの合同落成記念式典挙行 ●町伝統芸能保存会設立、初代会長に工藤眞一氏が選任 ●平内町廃棄物処理施設竣工 3月●青森県ほたて貝廃棄物処理施設竣工 4月●介護保険制度施行開始 8月●第1回平内町席書大会開催 11月●土屋コミュニティセンター完成 ●平内中央病院創立50周年記念誌刊行
2001	13	2月●「広報ひらない」500号達成 ●奥州街道碑建立 3月●狩場沢小学校助白井分校閉校 ●第四次平内町長期振興計画策定 4月●青森市、奥内、平内町の3森林組合が合併して「森林組合あもり」が発足 ●小湊小学校ことばの教室開設 5月●夜越山オートキャンプ場、土屋コミュニティセンター、平内町消防団小湊分団機械器具置場の合同落成記念式典挙行 6月●柵創作閉鎖(誘致企業)

西暦	年号	主 な 出 来 事
2001	平成13	7月●「白鳥おばさん」こと松波夏子氏逝去 8月●小湊川「ひだまり公園」オープン ●西地区で廃棄物分別収集事業開始 12月●細川亨（21）（東滝）プロ野球西武ライオンズ入団（背番号47）
2002	14	4月●介護予防拠点整備事業において「生きがい工房平内」開設 5月●北方4島とのビザなし交流によりロシア側訪問団（6人）来町 8月●平内町史編さん委員会発足（委員長：鬼柳恵照氏ほか9名） 10月●青森市との市町村合併問題に係る住民研修会開催（清水川コミセン、山口コミセン、開発センター） ●町道沼館・松野木線の第2松野木橋開通 11月●青森市との市町村合併問題に係る各産業団体との座談会開催（漁協、農協、森林組合、商工会） 12月●青森地域広域事務組合平内清掃工場（中野）廃止 ●東田沢地区漁業集落排水処理施設完成 ●西平内地区農業集落排水処理施設完成
2003	15	1月●青森市との市町村合併に関する住民アンケート調査実施（満18歳以上の住民対象） 2月●平内町土地開発公社が解散（同年6月に清算終了） ●戸籍電算システム開始 ●青森市との市町村合併に関する住民アンケート調査開票・集計（青森市との合併に反対66.41%） 4月●平内町斎場つきのき聖苑供用開始 ●東田沢地区漁業集落排水処理施設一部供用開始 ●西平内地区農業集落排水処理施設一部供用開始 ●中古スキー寄贈により平内町スキークラブがモンゴル政府より感謝状贈呈 6月●町営盛田牧場閉鎖 ●そば粉100%の平内産そばを商品化 ●小湊小学校創立130周年記念式典挙行 9月●藤沢コミュニティセンター完成 10月●平内町行政改革大綱及び実施計画（2004～2006年度）策定 11月●平内町情報通信システム整備事業完了（グループウェア整備、ホームページ全面更新等）
2004	16	3月●町議会議員定数20人から18人に削減 4月●平内町民バス運行開始 ●基幹型在宅介護支援センターオープン

西暦	年号	主 な 出 来 事
2004	平成16	7月●夜越山ふれあい広場（パークゴルフ場等）オープン 9月●町民有志による「第1回ひらなひ敬老まつり」開催 11月●30～50年に1度開花する「竜舌蘭」が夜越山サボテン園で開花
2005	17	3月●土屋、浦田、稲生小学校が閉校、4月から町立山口小学校へ統合 ●3月31日、町制施行50周年 4月●指定管理者制度の導入 ●ほたて広場オープン（平内町土屋） ●町指定ごみ袋制導入 ●役場で課の再編、17課・室・局を9課（局）に統合 ●町民ボランティアによる町制施行50周年記念事業イベント実行委員会を組織 7月●町制施行50周年記念で「平内町史（再版）」と「平内町史続巻1（新版）」を発刊 8月●「ひらなひ夏まつり」協賛50周年記念事業実施 9月●50周年記念事業「町クリーンアップ作戦」実施 10月●第1回青森県山・川・海の感謝祭開催（夜越山） ●50周年記念「ふるさと歌留多ひらなひ物語」完成 ●50周年記念事業「町民文化祭前夜祭・町民かるた大会」開催 12月●平内浄化センター（公共下水道）完成
2006	18	4月●基幹型在宅介護支援センターを廃止し、平内町地域包括支援センター設置 ●平内浄化センター（公共下水道）一部供用開始
2007	19	1月●燃料価格の急激な高騰に伴い、福祉灯油購入補助事業実施 3月●内童子、狩場沢小学校廃校、4月から内童子小学校は町立小湊小学校へ、狩場沢小学校は町立東小学校へ統合 4月●学校歴史伝承庫開設 ●旧内童子小学校体育館を町立体育館分館とする ●平内町資源物集団回収事業開始 5月●漁船で行GO！開始（土屋漁業研究会主催） 6月●ほたて広場海浜公園完成 7月●国道4号土屋バイパス「ほたて大橋」完成一部供用開始 10月●もうら・だいすきかいがん完成 ●小湊中学校創立60周年記念式典挙行 12月●内童子コミュニティセンター完成

西暦	年号	主な出来事	西暦	年号	主な出来事
2008	平成20	3月●町議会議員定数18人から14人に削減 6月●平内町土地改良区解散、一本松、薬師野、松野木、小湊・山の手、藤沢、小豆沢、山口の7地区で水利組合設立 7月●粗大ごみ有料化開始 12月●外童子コミュニティセンター完成 ●あすなる・新あおもり・東つがる・浪岡の4農協が新設合併し「青森農業協同組合」が発足	2011	平成23	11月●国道4号土屋バイパス竣工、供用開始 ●船橋茂久氏町長就任 ●初代高橋竹山生誕記念「撥魂」2011開催
2009	21	3月●平内町食育推進計画策定 ●狩場沢漁港工事竣工 4月●亀田徳光氏教育長就任 9月●消費生活相談窓口を産業振興課内に開設	2012	24	2月●清水川地区漁業集落排水処理施設完成 3月●浪打漁港（浪打地区）工事竣工 ●相坂一則氏教育長就任 ●浅所、東田沢、茂浦小学校が閉校、4月から浅所、東田沢小学校は町立小湊小学校へ、茂浦小学校は町立山口小学校へ統合 4月●山田光昭氏副町長就任 ●清水川地区漁業集落排水処理施設一部供用開始
2010	22	3月●浪打漁港（番所地区）工事着手 4月●ホタテ貝適正養殖可能数量制度（タスク）実施 ●ほたて広場で「初代高橋竹山生誕100年記念写真展」開催 ●椿山・大島地区駐車場の無料開放化 6月●初代高橋竹山生誕100年記念特別展開催 7月●新型インフルエンザ猛威を振り、対策本部を役場に設置 8月●初代高橋竹山生誕100年記念コンサート開催 10月●平内ホタテガイ高水温被害対策連絡会議設置 11月●平内町ホタテガイ高水温被害対策本部設置 12月●メディコトリムを実施			7月●外国人住民の住民基本台帳制度開始 10月●満70歳以上の高齢者に対しての、肺炎球菌ワクチンの助成開始 ●保健福祉課に平内町障害者虐待防止センター設置 ●浪打配水管から土屋配水管まで配水管新設工事竣工 ●第63回全国漁港魚場大会で清水川漁港視察 11月●初代高橋竹山生誕記念「撥魂」2012開催 ●夏泊ほたて海道トンネル開通記念式典挙行・開通記念漁民大会開催 ●県道夏泊公園線「浦田・茂浦バイパス」完成供用開始
2011	23	3月●浪打地区、土屋地区、童子地区、狩場沢地区の簡易水道を廃止 ●第五次平内町長期振興計画策定 ●東栄小学校が閉校 4月から町立東小学校へ統合 4月●平内町水道事業（第5次拡張）経営変更認可 ●給水区域を「浪打」、「土屋」、「童子」、「狩場沢」地区に拡張 ●農業者戸別所得補償制度実施 ●夏泊ほたて海道トンネル貫通記念式典挙行・平内町漁民大会開催 ●乳幼児こども医療費給付を中学生まで拡大 ●子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン接種の助成開始 ●東日本大震災被災地へ町職員派遣及び物資運搬 9月●特定健診の個別健診開始 10月●平内いきいき健康館（よごしやま温泉）リニューアルオープン	2013	25	3月●北部上北広域事務組合の平内消防署から青森地域広域消防事務組合の平内消防署となる 9月●子ども議会開催 ●戸籍副本データ管理システム開始
			2014	26	3月●平内町と青森大学との包括的連携に関する協定締結 12月●浪打漁港（番所地区）工事竣工
			2015	27	1月●青森大学×平内町連携プロジェクト実行委員会が青少年ホームで「ひらない魅力発掘晩餐会～銘酒とスイーツの夕べ～」開催 2月●外の沢埋立地に廃棄物一時保管施設竣工 ●使用済小型家電リサイクル開始 3月●新・OMOTENASHIご当地グルメ「平内ホタテ活御膳」デビュー 4月●青森地域広域消防事務組合の平内消防署から青森地域広域事務組合の平内消防署となる ●廃棄物一時保管施設より青森市清掃工場へ搬入開始

西暦	年号	主 な 出 来 事
2015	平成27	4月●平内中央病院事業会計を公営企業法一部適用から全部適用に移行し、事業管理者を設置 6月●平内町シルバー人材センター発足 7月●奉安殿新築移設竣工 8月●子ども議会開催 10月●人口減少と地域経済縮小の克服やまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指し、平内町人口ビジョン及び平内町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定 12月●町制施行60周年記念事業で「青森県平内方言集（平内町史別冊）」再刊行
2016	28	1月●マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）開始 4月●2子目以降保育料無料化事業開始 ●平内町定住促進新築住宅建設補助金制度開始 ●平内町定住促進家賃補助金制度開始 ●衣類リサイクル開始 7月●無人直売所「ふんちゃ」オープン 8月●多門's ひらないイングリッシュキャンプ開催 10月●相坂一則氏、新教育長制度に係る教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」に就任 11月●平内町の地域資源を活用した地域ブランド創出を目指すひらないまるとブランド戦略推進協議会設立
2017	29	1月●町有施設等の総合的な管理指針を示した平内町公共施設等総合管理計画を策定 ●平内町と公益社団法人青森県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会青森県本部における平内町空き家等の利活用に関するパートナーシップ協定締結 ●平内町と株式会社青森銀行、株式会社みちのく銀行及び青森県信用組合における地方創生に係る包括連携に関する協定締結 4月●保育料完全無料化事業開始 8月●子ども議会開催
2018	30	3月●ひらないまるとグルメ館完成記念式典 4月●プラスチック製容器包装回収開始 5月●ひらないまるとグルメ館オープン 12月●平内町健康なまちづくり宣言
2019	令和元	7月●B&G海洋センターリニューアルオープン 8月●子ども議会開催 10月●平内町地域おこし協力隊まちなかオフィスオープン
2020	令和2	3月●町議会議員定数14人から12人に削減 ●第六次平内町長期振興計画策定

西暦	年号	主 な 出 来 事
2020	令和2	3月●新型コロナウイルス感染症警戒本部設置 ●平内町総合型スポーツクラブACE設立 4月●新型コロナウイルス感染症対策本部設置 ●平内町子育て世代包括支援センター（おひさまひらない）開設 6月●ひらないまるとグルメ館リニューアルオープン 10月●初代高橋竹山生誕110周年記念イベント開催 11月●新消防庁舎完成 12月●渡辺伸一氏教育長就任
2021	3	3月●青森県立東高等学校平内校舎閉校 4月●平内町乳幼児・子ども医療費の対象を18歳以下へ拡充 7月●平内町と第一生命保険株式会社との包括協定締結 ●平内町と明治安田生命保険相互会社との健康増進に関する連携協定締結 8月●子ども議会開催 ●東京2020パラリンピック聖火フェスティバル採火式（夜越山スキー場） 10月●平内町と青森放送株式会社との地域防災パートナーシップ協定締結
2022	4	4月●休憩室やオールジェンダートイレなどの機能をもったトイレ施設「オーシャンビュー夏泊崎」の完成 5月●高齢者などの町民バス無償化開始 9月●平内町と株式会社青森テレビとのSDGs推進に関するパートナーシップ協定締結 12月●平内町と株式会社ナガワとの災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定締結
2023	5	1月●小中学校の学校給食費無償化を開始 ●平内町LINE公式アカウント開設 3月●双子へき地保育所閉所 ●東平内中学校、小湊中学校、西平内中学校閉校 4月●平内中学校開校 8月●子ども議会開催 11月●小湊小学校創立150周年を祝う会開催
2024	6	1月●平内町デマンド交通の実証運行開始 4月●平内町教育支援センター「ひらないスマイルルーム」設置
2025	7	3月●町制施行70周年





平内町の位置

【概要】

北緯／40度55分24秒
東経／140度57分33秒
広ぼう／東西20.64km
南北23.22km
面積／217.09km²



- 発行／平内町
青森県東津軽郡平内町大字小湊字小湊63
TEL 017-755-2111
- 編集／平内町企画政策課
- 印刷／青森コロニー印刷
青森県青森市大字幸畑字松元62-3
TEL 017-738-2021

表紙写真：撮影者 佐々木壮人